

# JAおうみ富士 自己改革実践報告書

【平成29年12月現在】



JA oughみ富士では、第7次中期活動計画(平成29年度~平成31年度)および第7次営農計画(JA oughみ富士地域営農ビジョン)(平成29年度~平成31年度)に基づき、「自らの創意工夫による自己改革を実践し、組合員や地域とともに歩む協同組合をめざす」を基本理念に、

- I. 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大
- II. 総合事業による地域の活性化への貢献
- III. 自己改革を支える経営基盤の確立

を基本方針に掲げ、役職員一体となり取組みを進めています。

本冊は、平成29年度実践の自己改革の内容を抜粋したものであり、ここに組合員・利用者の皆さまへご報告いたします。

## I. 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

### 【営農・販売】

#### 1. 「ハウス・畑バンク」の設立

新規就農者の農地確保と遊休施設・農地の有効活用を目的に設立した「ハウス・畑バンク」は、貸出希望 9 件、借受希望 5 件の申出がありました。今後、希望者のマッチングをすすめるともに、多方面にも広く周知活動を行い、新規就農者の育成につなげます。

#### 2. 業務用多収性品種の契約栽培

多収性品種「やまだわら」を 164a 作付けしましたが、本年産は目標反収を下回りました。平成 30 年産に向け栽培方法の検証を行い、取組方針を検討します。



#### 3. もち麦の生産拡大

新たな地域特産品として、平成 30 年産に向け 12.18ha (平成 29 年産 5.24ha) 作付けしました。10 月 19 日に「もち麦生産部会」を設立し、平成 30 年 2 月中旬より中主管農センターにおいて「もち麦加工施設」を稼働します。



#### 4. 高密度播種苗の試験栽培

60a で試験栽培を実施した結果 (10a あたり約 7 枚)、例年以上の収量となりました。今後の対応に向けて、作業ラインの改造等も含め検討します。



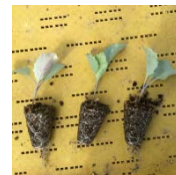
#### 5. 地域特産品の生産拡大に向けた新規就農者育成

メロントレーニングハウスは 2 名が受講し、うち 1 名は平成 30 年度にメロン部会へ入会予定です。今後も継続して受講者を募集し、新規就農者育成に取り組みます。



#### 6. 複合経営支援 (広域キャベツの取組み)

大津・湖南地区の 4JA 間連携により、「近江のキャベツ」として 5.3ha を作付けしました。今後、有利販売と播種・定植等の作業効率の向上に取り組みます。



#### 7. スマート農業の推進

栽培ナビシステムを 20 ユーザーに登録し、栽培管理の効率化とリアルタイムの営農指導に取り組んでいます。今後、施設園芸農家への利用拡大に取り組みます。

### 【購買】

#### 8. 低コスト肥料の開発・普及

低コスト水稻基肥一発肥料を開発し、担い手農家を中心に普及しました。平成 30 年産からは「栽培ごよみ」にも掲載し、予約推進を通じて供給拡大を図ります。



## 【直売所】

### 9.外販の強化

新規外販先として管内のホテル等を開拓し、定期的に食材を提供しています。今後、ネット販売による販路拡大・強化に取り組みます。

### 10.グリーンツーリズムの強化とインバウンドの誘致

みらい基金と連携し、多様な消費者を農村地域に招き、農業に触れる機会づくりに取り組みました。

また、台湾から高校生を受け入れるなど、農業体験を通じて、管内農業をPRしています。



### 11.青空フィットネスクラブの活性化

Facebook で情報発信し、青空フィットネスクラブをPRするとともに、都市と農村を結ぶ交流事業を通じて、農業への理解を深めています。



## Ⅱ.総合事業による地域の活性化への貢献

### 1.農業・農業者応援プランの提供

12月末累計で40件208,039千円の農業関連資金の融資実行を行いました。引き続き、農業・農業者応援プランの周知・実行に取り組みます。

### 2.ファーマーズ・マーケット利用券付定期貯金の販売

9月に実施した県域統一企画の「JA ファーマーズ・マーケット利用券付定期貯金(ハーベスト)」は、653件5億2,226万円の取扱実績で好評のうちに終了しました。

### 3.安心チェックによるリスクに対する保障の提案

3Q(保障点検)訪問活動によるニーズにあった「ひと・いえ・くるま」の保障提案活動に取り組みました。

### 4.「野菜だいすき料理教室」開催による次世代との接点活動

4月、9月、12月に開催し、子育て世代53名の参加のもと、おいしい野菜料理について学んでいただきました。

(年間4回、次回は、2月7日開催)



### Ⅲ.自己改革を支える経営基盤の確立

#### 1.JA ファンを広げる組合員加入促進

職員による加入促進により、475 名の新規組合員加入がありました。また、貯金キャンペーン等での組合員加入とあわせると 13,942 名の組合員になりました(4 月から 851 名の増)。

#### 2.ガバナンス運営体制の構築

改正農協法施行を受け、次期役員体制について、「JA おうみ富士役員体制検討委員会」において協議検討をいただき、答申を受けました。今後、諸規程等の変更手続を進めます。

#### 3.おうみんカードの普及

平成 27 年 10 月に「おうみんカード」がスタートし、2 年が経過しました。カードの累計発行枚数は 19,626 枚になり、多くのお客様におうみんちでご利用いただいています。



#### 4.支店だより、営農センターだよりの発行

組合員・利用者に向け、より身近な情報を提供するため、広報誌「かがやき」のほか、「支店だより」「営農センターだより」を発行しています。



#### 5.「1 支店・1 事業所・1 協同活動」によるふれあい活動の展開

各支店・事業所において計画し、JA を地域に根ざす身近な存在として活動しています。

支店感謝祭の開催、地元行事への積極的な参加等



#### 6.CS 改善プログラムの導入

顧客満足度の向上のため、「自ら考え、自ら動いて、改善を形にする」をキャッチフレーズに、支店から取組みを始め、営農センターを含めた全事業所で CS 改善プログラムを実践しています。



#### 7.組合員・地域住民が集える場の提供

健康(スポーツ・料理等)や文化(セミナー・学習会等)活動を通じ、JA に集える場を提供し、「絆づくり」を深めています。

カルチャー教室、JA おやこひろば、てくてく健康クラブ、  
レディーススクールきらめき、男性料理教室、men's カレッジ等



これからも JA おうみ富士は、組合員・地域の皆さまとともに歩んでまいります。